

復興へ！力を合わせて

児童生徒による復興プロジェクト 平成23年5月11日

南光台復興新聞

—発行所—

仙台市立
南光台中学校
広報委員会

仙台市泉区南光台
七丁目2番1号
TEL 022(388)1261
FAX 022(388)1262

東日本大震災から二ヶ月が経過した5月11日、防犯子どもを守るうデーと、グッドモーニング・クリーニングデーの日程にあわせて、復興プロジェクトのセレモニーが、南光台中学校の校庭で行われた。当日は、まもらいだー・まもりな・いじめんだー・もいさつ運動に参加した。セレモニーでは小学生・中学生・地域の方々が3学年委員長岡田嘉奈子さんの発声に合わせて、力強く復興へのアピールを行った。

生徒代表の言葉

東日本大震災から、今日でちょうど二ヶ月がたちました。未だに大勢の行方不明者がいます。また、たくさんの方が避難所での生活を余儀なくされています。それが、ここ宮城県内で起こっていることだとまだ信じられません。南光台中学校は、震災発生後すぐに体育館・武道館が避難所になり、部活動をなかなかできない長い春休みを過ごしました。しかし僕達南中生は、地域のボランティアや学校の仕事や各家庭での片付けや買い出し、給水などの仕事を

私達には、生かされた命を大切に、私達の町をもう一度作り直していくという課題があります。みんなで手を取り合い、よりよい町作りへ向けて、がんばりましょう。

がんばろう宮城
がんばろう仙台
がんばろう南光台

3学年委員長 岡田嘉奈子

を率先して行い、家族や地域の方々のために働きました。学校再開後も、度重なる余震で校舎がダメージを受け、現在では使用できない教室などがあり、不便な学校生活を強いられています。登下校の際も、地面のひび割れや建物の壁の破損などを未だに多く目にします。また、校舎が使えるなくなった南光台小学校の3・4年生が、一緒に校舎を使用し、学校生活を送っています。4年生は体育館を使用しての不自由な授業です。これまで通りの学校生活と

は全く異なるものですが、新たに迎えた新入生、さらに南光台小学校の3・4年生と協力しながら、学校生活を送っています。今後南中生が南光台地区のため、仙台・宮城復興のためにできることは、登校する際に通学路のごみ拾いを行うグッドモーニング・クリーニングや地域清掃をより活性化し、進んで地域の美化に努めること。生徒全員がより積極的に、元気に挨拶をし、地域を明るくすること。そして被災地の、まだ再開できていない学校の生徒の気持ちをしっかりと考え、一生懸命勉強や部活動に取り組むことの3つだと思います。そして、今一番大事なのは必ず宮城・仙台は復興する、必ず明るい未来が来るのだということを信じていることです。僕達第34期生徒会のスローガンはUNITY、みんなで壁を乗り越えろです。UNITYには「団結・結束」という意味があります。今こそ全校生徒、先生方、南光台小の皆さん、地域の皆さんと団結するときだと思います。そうして、この震災という大きな壁を乗り越えていきましょう。

生徒会長 畑岡 治



5月21日土曜日に、南光台小学校は運動会を実施しました。震災以来、全校児童が一堂に介する行事は、今回が初めてです。南光台小学校はこれまで、4カ所の施設をお借りして学習を進めており、しかも校庭は運動会の2日前にやっと使えるようになったという状況でしたので、種目に関しては「子どもたちが楽しめて、ルールが易しいもの」を選び、各学年、かけこと団体種目を行いました。

1年生と2年生は『玉入れ』です。2年生はさらに難易度を高めるために、かごを回転させました。

3年生と4年生は『綱引き』です。2回戦で勝敗を決します。力のこもった引き合いとなりなかなか決着がつかず、見応えのある勝負でした。

復興の大運動会 5月21日南光台小学校

5年生と6年生は、合同で『お猿のかごや』と組体操を行いました。[がんばろう南光台]のメッセージも送りました。

最後は、保護者の皆様、地域の皆様と子供たちが一緒になってジャンカを踊り、ジャンケンをして楽しみました。はつらつとした子供たちの演技を通して、皆様笑顔になり、元気になっていただけたら幸いです。

練習場所の確保が一番の課題でしたが、お世話になっている各施設の皆様から多大なるご支援をいただきました。保護者の皆様からは、温かいご声援を賜り、無事運動会を実施できました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。 研究主任 真壁淳一